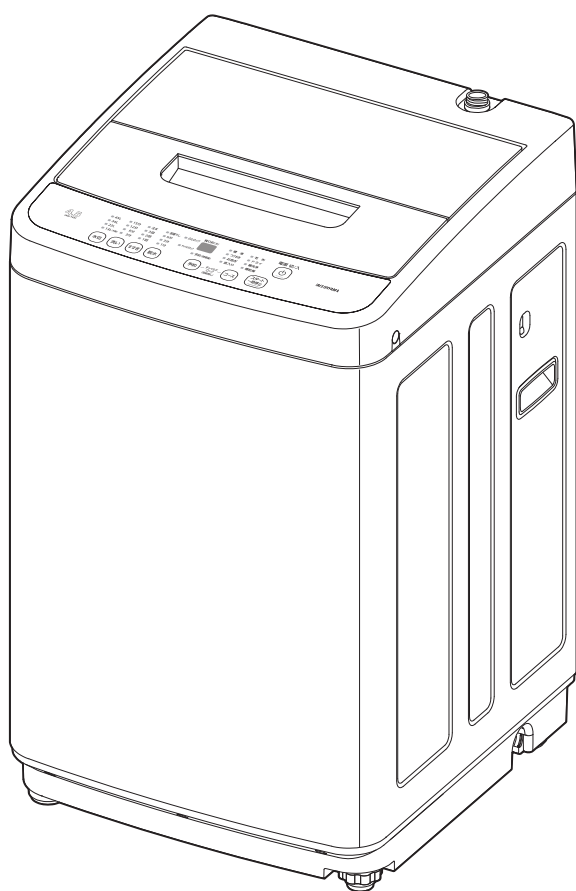


全自動洗濯機

IAW-T451

取扱説明書



この商品は海外では使用できません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。
まず。

- この取扱説明書をよく読んで、正しく使用してください。
- 使用する前に「安全上の注意」を必ず読んでください。
- この取扱説明書は使用する方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	2
使用上の注意	4
各部の名称	5
洗濯物について	8

取り扱いかた

洗濯前の準備	9
洗剤・柔軟仕上げ剤・漂白剤の入れかた	11
ふたロックについて	12
チャイルドロックについて	12
洗濯 標準・つけおき・お急ぎ・念入りコース	13
洗濯 毛布コース	14
洗濯 ドライコース	16
洗濯 タイマー予約洗濯	18
洗濯 コースの設定を変更して洗濯する	19
お手入れ	20
コース一覧	24

こんなときには

故障かな？と思ったら	25
仕様	30
長期使用製品について	31
保証とアフターサービス	31

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。
- 電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う
火災の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。



ぬれた手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります



- 電源コードをたばねて通電しない
過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。
- 電源コードを傷つけない
- 電源コードを引っ張らない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 洗濯機を電源プラグに押しつけない
据え付け時は、洗濯機で電源プラグを押しつけないように注意してください。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、アイリスコールへお問い合わせください。

据え付けについて



- 水まわり、浴室など湿気のある場所には絶対に据え付けない
- ベランダ・庭など風雨にさらされる場所に据え付けない
火災の原因になります。



アースを必ず接続

- アースを必ず取り付ける
感電・やけど・けがの原因になります。
- アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない
爆発・火災の原因になります。



接触禁止

- 回転中の洗濯・脱水槽に手などを入れない
ゆるい回転でも、洗濯物が巻きついて大けがの原因になります。回転が完全に止まるまでは洗濯物や洗濯・脱水槽に絶対に触れないでください。



- ふたが破損したり、脱水中にふたを開けたときに脱水槽が停止しないときは、直ちに使用を中止する
事故の原因になります。お買い上げの販売店またはアイリスコールへ修理を依頼してください。



水ぬれ禁止

- 本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない
火災・感電の原因になります。



感電注意

- 雷が鳴りだしたら、洗濯機やコンセントに触れない
感電のおそれがあります。



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理については、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。



- 子どもに洗濯・脱水槽の中をのぞかせない
- 近くに子どもが乗りやすい台などを置かない
- 子どもに使わせない
洗濯・脱水槽に落ちて、けがをしたりおぼれたりする原因になります。



プラグを抜く

- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。
【異常の例】
 - ・ 異常な音やにおいがする
 - ・ 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
 - ・ 運転中時々電源が切れる
 - ・ 触れるとビリビリ電気を感じる
 ➔使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



プラグを抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁低下により、火災・感電の原因になります。



- 40℃以上のお湯を使用しない
- 給湯器につながらない
プラスチック部分が変形・破損し、感電や漏電、水もれの原因になります。



- 上に乗ったり、寄りかかったりしない
- 重いものを載せない
転倒事故などの原因になります。



- スプレーをかけない（殺虫剤、整髪料、潤滑油など）
- 引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナーなど）、可燃性のものを入れない
火災の原因になります。



火気禁止

- 可燃性のものや火のついたたばこ・線香などを入れたり近づけたりしない
火災の原因になります。



- 防水性のもの、水を通しにくいものは、洗濯・脱水しない
洗濯物の飛び出しや脱水時の異常振動により、けが・家財の損傷・洗濯物の損傷・水もれなどの原因になります。
部屋干しモードも使用しないでください。
防水性のもの・水を通しにくいもの
雨合羽・サウナスーツ・ウェットスーツ・おむつカバー・寝袋・スキーウェア・自動車などのカバー・防水シート・玄関マット・バスマット

- 衣類を入れすぎない
運転中に衣類が洗濯・脱水槽から飛び出して、衣類が損傷したり、洗濯機の部品の破損の原因になります。



- 洗濯機の下に手や足などを入れない
回転部などに触れるとけがの原因になります。

据え付けについて



- キャスター付きの台など不安定な場所に据え付けない
- 高いところに据え付けない
脱水時の振動で、転倒・落下・移動し、けがや周囲の家財の破損の原因になります。



- 確実に排水できる場所に据え付ける
水もれにより、周囲の家財の汚損や、火災・感電の原因になります。

安全上の注意 つづき



- 給水ホースは確実に接続する
- 運転前は、水栓を開けて、給水ホースの接続部から水がもれていないことを確認する

ねじなどがゆるんでないか確認してください。ホースが外れると、水もれや事故の原因になります。



- 運転後は水栓を閉じる
水もれの原因になります。

使用上の注意

- 本体（特にふたや操作パネル）に洗剤や柔軟剤が付いたときは、すぐにしぼったタオルなどで拭き取ってください。

印字のはがれやプラスチック部分の傷み、金属部の腐食などの原因になります。特に濃縮液体洗剤がプラスチック部分に付くと、プラスチックが割れることがあります。

- 洗剤は入れすぎないでください。
すすぎが不十分になったり、泡が飛んで周囲をぬらす原因になります。

- 洗濯物を入れすぎないでください。
洗濯物の傷み、洗濯機の破損・故障の原因になります。

- 使用後は万一の水もれを防止するために、水栓を閉めてください。

- ラジオやテレビの近くに据え付けしないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。

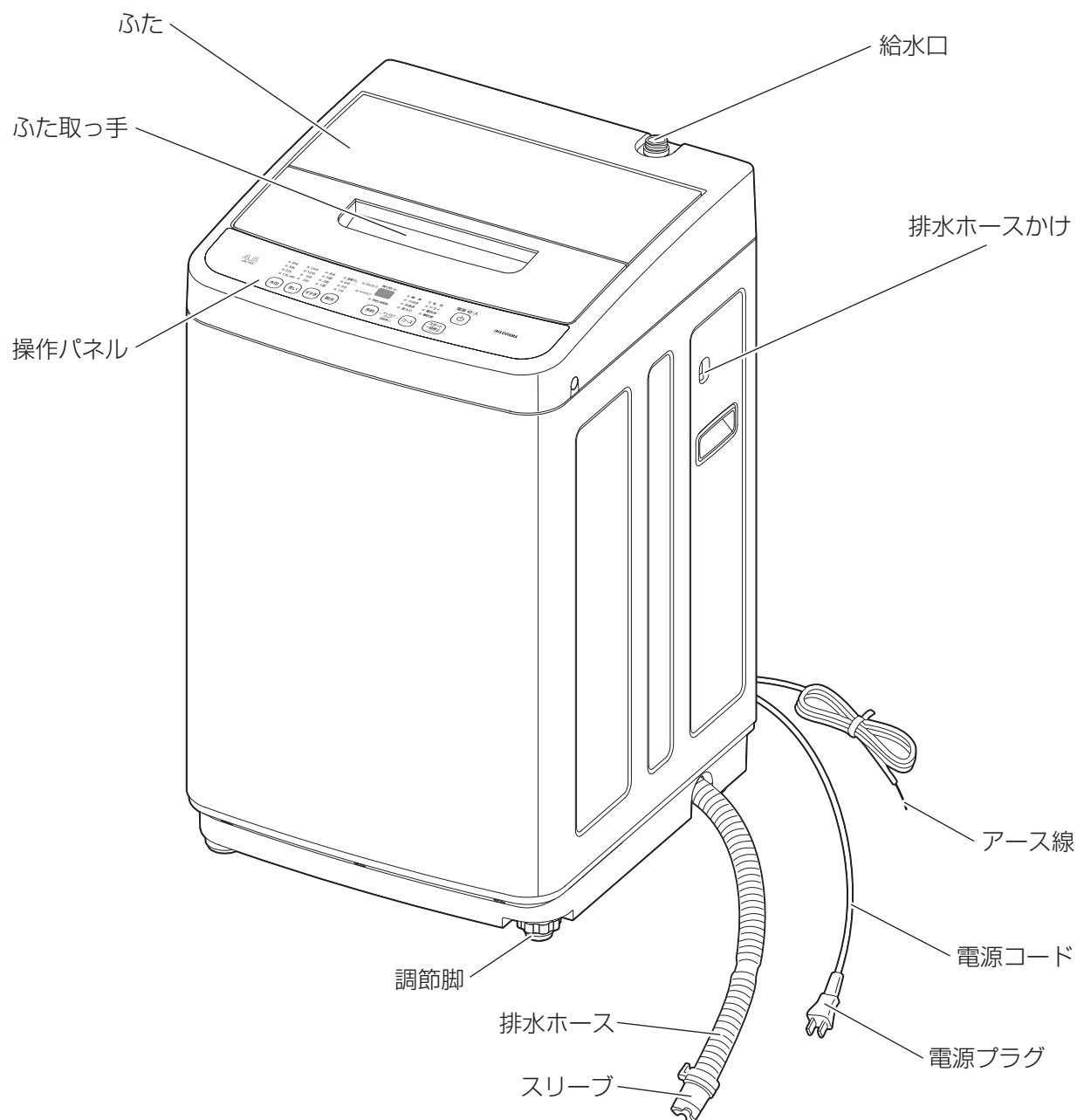
- スピーカーやIH調理器（電磁調理器）など磁気の出る機器の近くには据え付けしないでください。

- 洗濯機の上に磁気を帯びたものを載せないでください。
正常に動作しないことがあります。

廃棄について

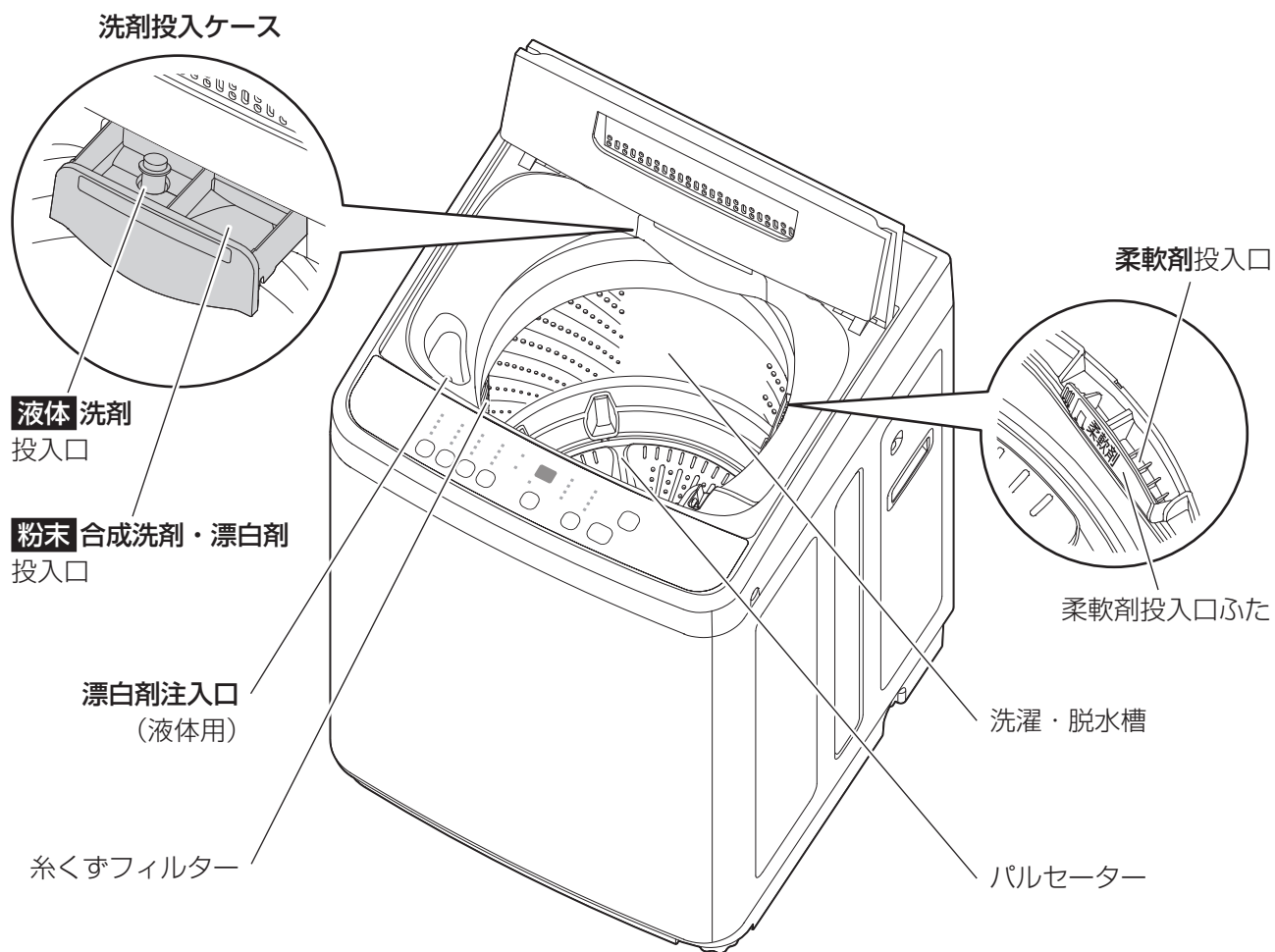
- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

各部の名称

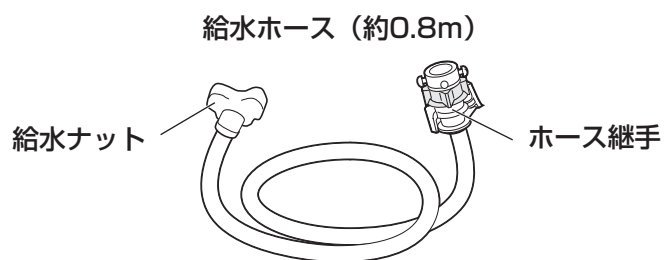


各部の名称 つづき

■洗濯脱水槽



■付属品



■操作パネル

水位ランプ・ボタン

洗濯物の量やコースに合わせて、自動で**水位**が設定され、ランプが点灯します。

水位ボタンを押すと、手動で水位を変更することもできます。

ふたロックランプ

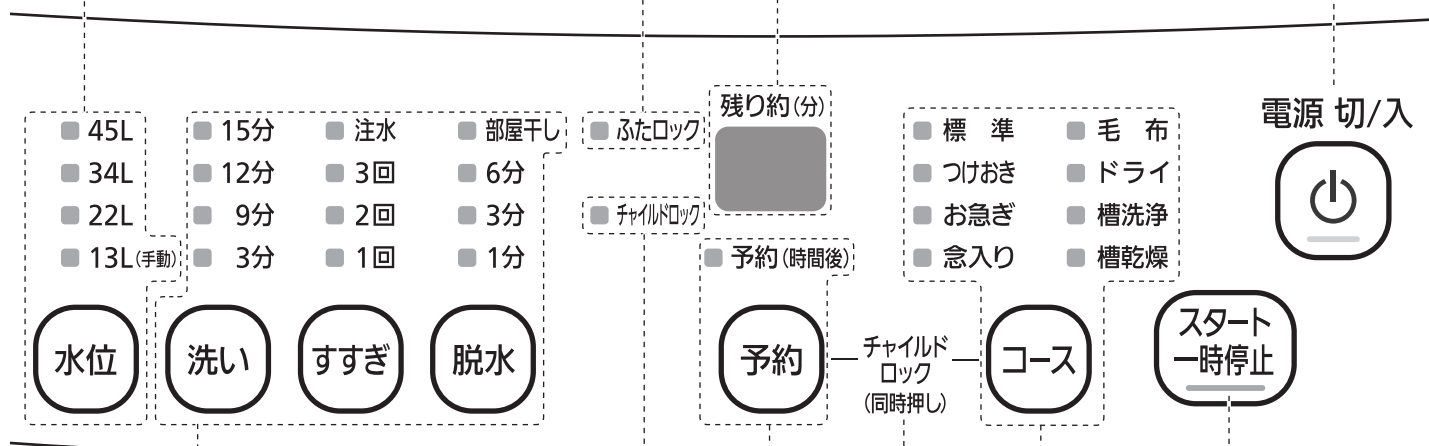
ふたロックされているときに、点灯します。

電源 切/入ボタン

電源を入・切します。
運転終了後は電源が切れます。
また、電源を入れて約10分間何もしないと、電源が切れます。

時間表示部

残時間・予約時間・エラーコードなどを表示します。



洗いランプ・ボタン

すすぎランプ・ボタン

脱水ランプ・ボタン

コースに合わせて、自動で**洗い**時間・**すすぎ**回数・**脱水**時間が点灯します。

コースを選んだ後に各ボタンを押すと、手動で**洗い**時間・**すすぎ**回数・**脱水**時間を変更することもできます。

予約ボタン

運転終了までの時間を予約することができます。

コースランプ・ボタン

洗濯のコースを選びます。

チャイルドロックランプ

チャイルドロックを設定すると、点灯します。

チャイルドロック予約ボタンとコースボタンを同時に押すと、チャイルドロックの設定・解除ができます。

スタート/一時停止ボタン

洗濯を開始するとき、一時停止するときに押します。一時停止すると、**ふたロック**が解除されます。

洗濯物について

■洗濯できないもの

洗濯物の縮み・形くずれ・変色・損傷・風合いの劣化などのおそれがあります。

●以下の洗濯絵表示のあるもの



または



：家庭での水洗いはできない、
または洗濯処理はできない



または



：石油系ドライクリーニング

●取り扱い絵表示や素材表示のないもの

●皮革・毛皮・羽などが使われている製品

●和服・和装小物

●ネクタイ・スーツ・コート

●レーヨン・キュプラ及びそれらの混紡が使われている製品

●絹製品

●ベルベットなどのパイル地製品

●強燃糸（強くよじった糸）を使用した製品（ウール・ちりめんなど）

●毛100%または毛足10mm以上の毛布やカーペットカバー

●靴

●コーティング加工・樹脂加工・エンボス加工をした製品

※厚手のタオル地の衣類や、柔道着などは、うまく脱水できないことがあります。単独での洗濯ではなく、複数枚での洗濯や、他の衣類と一緒に洗濯をしてください。

■脱水できないもの

脱水時の異常振動などにより、衣類の傷みや洗濯機の破損の原因になります。

●防水性製品

洗濯できる表示があっても洗わないでください。

●玄関マット・ラグマット・敷物

裏面にゴムの付いているもの、毛足の長いもの、厚手のもの

※3ページ **安全上の注意** もご覧ください。

●カーペット

●座ぶとん・まくら・クッションなど

●ペットなどの毛が多量に付着したもの

●市販の洗濯補助具

洗濯ボール・ごみ取りフィルターなど

■部屋干しモードが使用できないもの

洗濯物の縮み・しわつき・変色・損傷・風合いの劣化などのおそれがあります。

●以下の取り扱い絵表示のあるもの



または



：ドライクリーニング



または

「弱くしぼる」
などの指示

：弱くしぼるのがよい



または



：つり干しがよい



または

「しぼってはいけない」
などの指示

：しぼってはいけない

●ゴムやウレタンなどを使用した製品

●わたやウレタンの入ったマット・ふとん・ぬいぐるみなど

●ウール及びウール混紡製品

●色落ち・色移りしやすいもの

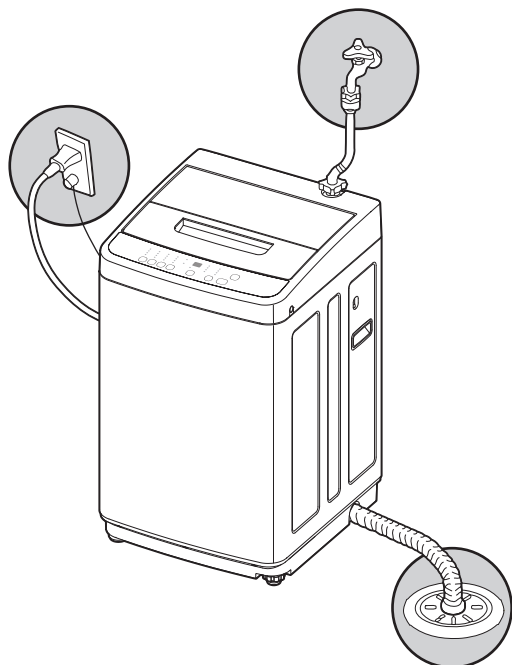
●しわが付きやすい製品

●その他、洗濯・脱水できない製品は、部屋干しモードも使用できません。

洗濯前の準備

1 据え付けの確認

初めて使用するときは、据え付け状態の確認をしてください。また、定期的に、据え付け状態に異常がないか確認してください。



電源コード

- 電源プラグがコンセントの奥までしっかり差し込まれているか
- アースが接続されているか

排水ホース

- 確実に排水口に取り付けられているか
- 排水が止まらないように高さ10cm以内に収まっているか
- 排水ホースが脚などにはさまっていないか

給水ホース

- 水栓（蛇口）の接続は、付属の給水ホースを使用して、ワンタッチ継手で接続しているか
- 本体の接続は、給水ナットを最後まで確実に締めであるか
- 接続部分にゆるみやがたがないか
- 水栓（蛇口）にさびは発生していないか

※ 給水栓は、ストッパー付きの給水栓をおすすめします。（据付説明書参照）

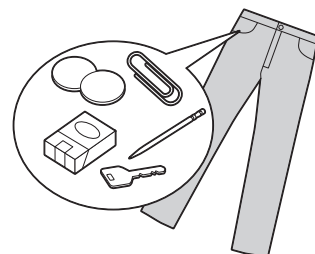
本体

- 水平に設置されているか
- がたつきはないか
- 排水ホースや給水ホース、水栓（蛇口）を圧迫していないか

2 洗濯物を確認する

ポケットの中のもの（硬貨・ねじ・ヘアピン・くぎ・つまようじ・砂など）は取り除く

- 洗濯物の傷みや排水経路のつまり・破れ、洗濯・脱水槽の破損の原因になります。

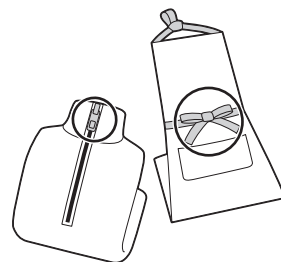


ひもなどは結ぶ

ファスナーは閉める

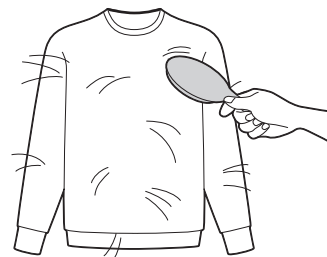
ボタンや面ファスナー（マジックテープ）はとめる

- 洗濯物がすれたり、からまったりして、傷む原因になります。



髪の毛・動物の毛・泥・砂などはブラシで落とす

- 排水経路がつまる原因になります。



起毛素材（コデュロイなど）・毛玉のできやすいセーター・特殊印刷のあるTシャツなどは裏返す

- 摩擦やかくはんなどで表面が傷みやすい製品は、裏返すか洗濯用ネットに入れてください。



洗濯前の準備 つづき

3 洗濯物を分ける

色落ちしやすいもの・濃い色のものと、白いもの・色の薄いものを分ける

- 色の濃いものは、洗濯物の目立たない部分で、白いタオルなどに洗剤液を含ませて押しつけ、色落ちしないか確認してください。
- 色落ちするものは、色ごとに分けて洗ってください。

糸くずが出やすいものと、糸くずが目立つものを分ける

- タオルなどは、糸くずが出やすいので分けて洗ってください。
- コーデロイや色の濃いものなど、糸くずが目立つものは、糸くずが出やすいものと分けるか、市販の糸くず防止ネットに入れて洗ってください。

デリケートな洗濯物は市販の洗濯用ネットに入れる

- レースの付いた製品・フリルや飾りボタンの付いた製品・ストッキングやタイツなどは洗濯用ネットに入れて洗ってください。
- ワイヤー入りブラジャーは、市販のブラジャー専用洗濯用ネットに入れて洗ってください。
- くつ下などの軽い洗濯物は、脱水時に飛ばされて洗濯・脱水槽と本体のすき間に入り、故障の原因になることがあります。軽い洗濯物は洗濯用ネットに入れて洗ってください。

4 洗濯物を入れる

- 洗濯のコースによって、洗濯できる量が決まっています。次の表を目安に、最大量を超えないように入れてください。

コース	用途	洗濯できる量
標準	ふだんの洗濯	4.5kgまで
つけおき	汚れの多いものを洗濯する	3.5kgまで
お急ぎ	時間を短縮して洗濯する	1.5kgまで
念入り	厚手の衣類を洗濯する	3.0kgまで
毛布	毛布を洗濯する	2.0kgまで
ドライ	ウールなどを洗濯する	1.0kgまで

- ※ 素材によって重さは異なるので、慣れないうちは少なめに入れてください。
- ※ 汚れ落ちや脱水のしぼり具合を良くするために、少なめの量での洗濯をおすすめします。
- ※ ひもなどが出ている場合は、できるだけ結んでください。洗濯・脱水槽から飛び出て、衣類の損傷や洗濯機の故障の原因になります。

衣類の重さ（目安）

		
パジャマ上下 (綿) 約500g	スカート (混紡) 約400g	ワイシャツ (混紡) 約200g
		
アンダーシャツ (綿) 約130g	シーツ (綿) 約500g	バスタオル (綿) 約300g
		
タオル (綿) 約70g	ブリーフ (綿) 約50g	くつ下 (混紡) 約50g

洗濯物の入れかた

重いもの・水に浮きやすいもの・洗濯用ネットに入れた洗濯物から先に入れる

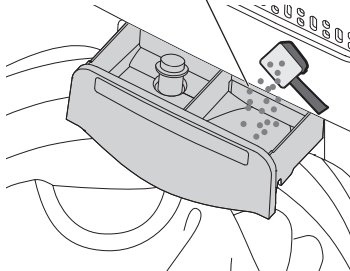
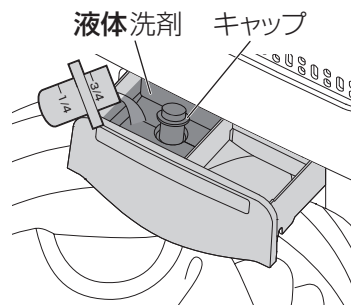
- 水に浮きやすい衣類の例
表地や裏地が化繊100%のジャンパーなど
フリースなど化繊100%、または混紡の衣類

洗濯物はできるだけ均一に入れ、よく押し込む

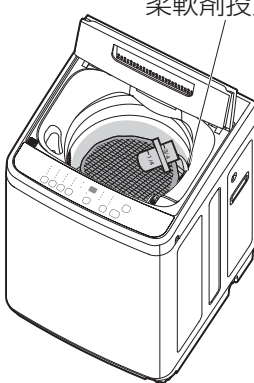
- タオルケットやシーツ・洗濯用ネットに入れた洗濯物は、必ず他の洗濯物と一緒に洗ってください。洗濯物が1か所に固まるため、脱水時の振動が大きくなります。
- 水に浮きやすいものだけのときは、給水後一旦運転を停止して、上から押さえ、洗剤液を十分にしみこませてください。
- 上から押さえても洗剤液がしみ込まないものは、洗わないでください。

洗剤・柔軟仕上げ剤・漂白剤の入れかた

洗濯用洗剤の入れかた

粉末合成洗剤 ※ 粉末合成洗剤は、入れすぎないでください。洗剤が固まって残ることがあります。 粉末合成洗剤・漂白剤 	液体洗剤・液体中性洗剤 ※ 液体洗剤・液体中性洗剤はキャップより多く入れないでください。運転開始前に全部流れ出てしまい、効果が出ません。 液体洗剤 キャップ 	粉石けん ① 約30℃のぬるま湯約5Lをかき回しながら、粉石けんを少しずつ入れて、洗剤液を作る。 ② 洗濯物の量検知後、約1分間の待機時間内に、洗濯・脱水槽に入れる 
---	--	--

柔軟仕上げ剤の入れかた

柔軟剤投入口に入れる - 柔軟剤投入口のふたを開けて投入してください。投入後はふたを閉めてください。 ※ 柔軟仕上げ剤は入れすぎないでください。先に流れてしまうことがあります。 ※ 種類によっては流れにくいものもあります。同量の水で溶かしてから入れてください。 ※ 少量の水と混ぜると固まるものがあります。柔軟仕上げ剤の説明にしがってください。 ※ 柔軟剤投入口の位置は、洗濯・脱水槽の回転によって変わります。 - 柔軟仕上げ剤が入れにくいときは、洗濯・脱水槽を手で回して（右回転のみ）ください。 ※ 脱水のときに、洗濯物の片寄りを検知すると、給水して片寄りを修正します。このため、柔軟仕上げ剤の効きが弱くなる場合があります。 ※ すすぎを3回に設定した場合、柔軟仕上げ剤の効きが弱くなる場合があります。 注意 ● スタート／一時停止ボタンを押した後は、洗濯・脱水槽に触れないでください。	柔軟剤投入口 
---	--

洗濯用洗剤・柔軟仕上げ剤の量

・ 計量キャップ・計量スプーンが付いてないときは、以下の表を目安にして入れてください。

水位	合成洗剤			粉石けん	柔軟仕上げ剤	
	粉末洗剤	液体洗剤	液体中性洗		一般タイプ	濃縮タイプ
45L	約31g	約31g	約61g	約55g	約31g	約11g
34L	約25g	約25g	約51g	約46g	約25g	約9g
22L	約18g	約18g	約38g	約32g	約18g	約6g
13L	約9g	約9g	約19g	約16g	約9g	約3g

※ お急ぎコースで洗濯するときは、洗剤の量を半分にしてください。

● 洗剤は入れすぎないでください。入れすぎると泡が立ちすぎて、周囲にあふれたり、すすぎが不十分になったりします。

漂白剤の入れかた

粉末漂白剤 ・ 粉末合成洗剤・漂白剤投入口に入れます。（洗剤と同時）	液体漂白剤 ・ 漂白剤注入口（液体用）に入れてください。
---	---

※ 漂白剤の量は、漂白剤の説明にしがってください。

ふたロックについて

- ・ 運転中はふたロックがかかります。

ふたロックを解除するには

- ・ 洗濯の途中でふたロックを解除するには、スタート／一時停止ボタンを押してください。

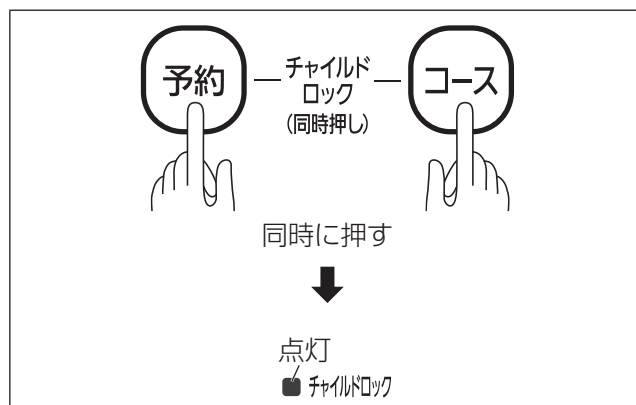


- ・ 脱水の途中でスタート／一時停止ボタンを押したときは、洗濯脱水槽が停止して約70秒経ってからふたロックが解除されます。

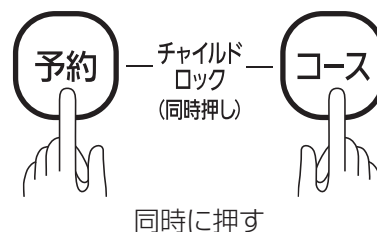
チャイルドロックについて

- ・ お子様の安全のため、チャイルドロックモードを設定できます。
- ・ チャイルドロックを設定すると、電源の入り切りに関係なく、ふたロックがかかります。
- ・ チャイルドロックの設定・解除は電源が入っているときにできます。

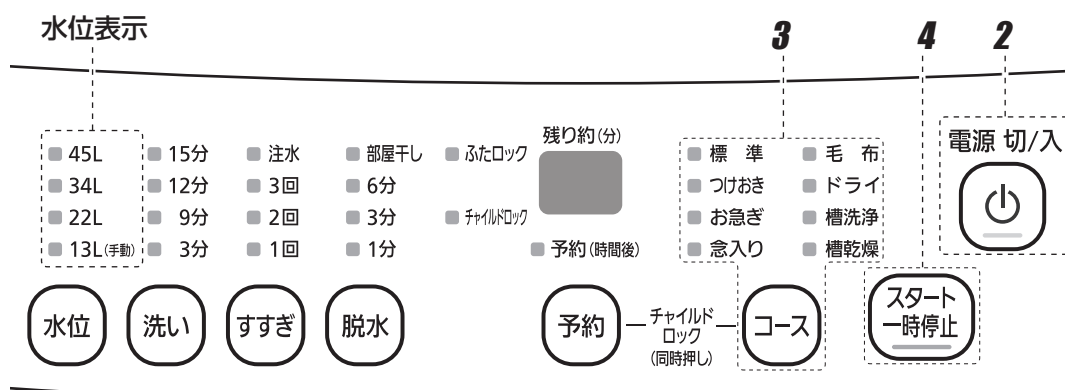
チャイルドロックを設定する



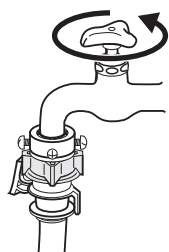
チャイルドロックを解除するときは、設定と同じ操作をする



- ※ チャイルドロックを設定すると、電源が切れていてもふたロックがかかります。ふたを無理に開けると故障の原因になります。



1 水栓を開け、洗濯物を入れる



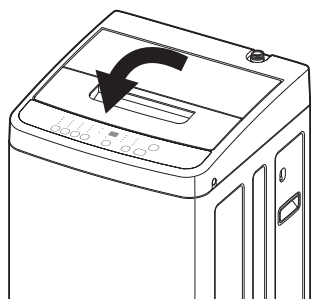
2 電源 切/入ボタンを押して電源を入れる

3 コースボタンでコースを選ぶ

4 スタート/一時停止ボタンを押す (洗濯物の量検知)

5 水位表示を目安にして、洗剤・柔軟仕上げ剤などを入れる

6 ふたを閉めると運転がはじまります



7 洗濯が終了したら洗濯物を取り出す

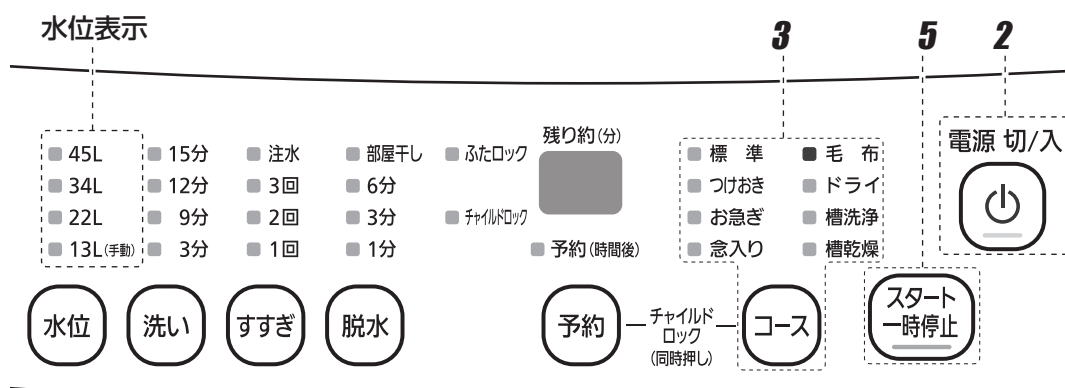
8 糸くずフィルターを掃除する

■ 水位について

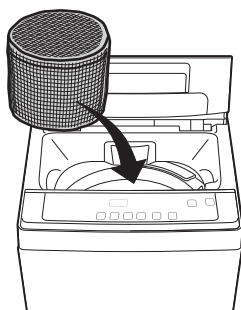
- ・軽い洗濯物（化繊の衣類・シーツなど）を入れたときは、水位が低く設定されることがあります。
- ・また、ぬれた衣類を入れると、水位が高く設定されることがあります。
- ・このようなときは、**水位**ボタンで設定を変更してください。



洗濯 毛布コース



1 水栓を開け、洗濯物を入れる



2 電源 切/入ボタンを押して電源を入れる

3 コースボタンで毛布コースを選ぶ

4 水位表示（固定）を目安にして、洗剤・柔軟仕上げ剤などを入れる

5 ふたを閉め、スタート/一時停止ボタンを押す

6 洗濯が終了したら洗濯物を取り出す

7 糸くずフィルターを掃除する

■洗濯物について

毛布コースで洗濯できるもの

- 毛布

手洗い30 または 30 の表示があるもの

40 または 40 の表示のあるもの

種類：マイヤー毛布、タフト毛布、綿毛布
大きさ：シングルサイズ（140×200cm）まで

- カーペットカバー
- ベッドパッド
- カーテン

※ 洗える電気毛布は電気毛布の取扱説明書にしたがってください。

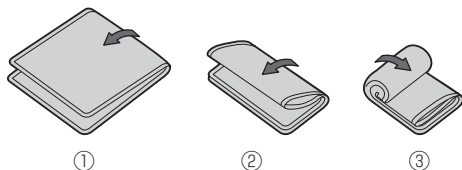
毛布コースで洗濯できないもの

- 毛100%の毛布・カーペットカバー
- 防水性のあるもの
- 化繊以外の詰め物がされているふとんなど
- 電気毛布・電気マット

■洗濯物の入れかた

折りたたむ

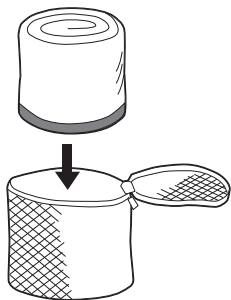
- 折りたたむ前に、ごみや糸くずを取り除いてください。
- 長いほうを四つまたは八つに折り、短いほうに巻いてください。できるだけ高さを低くするように折ってください。（毛布洗い用の洗濯用ネットに入れるため）



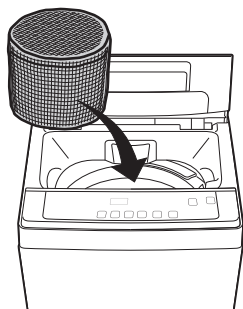
- マイヤー毛布以外はゆるめに巻いてください。

洗濯用ネットに入れる

- 必ず、毛布洗い用ネットに入れて洗濯してください。
- 縁のあるほうを下になるように洗濯用ネットに入れ、ファスナーを閉めてください。



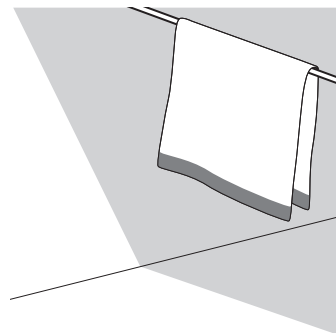
- ファスナーを上側にして、洗濯脱水槽に入れてください。

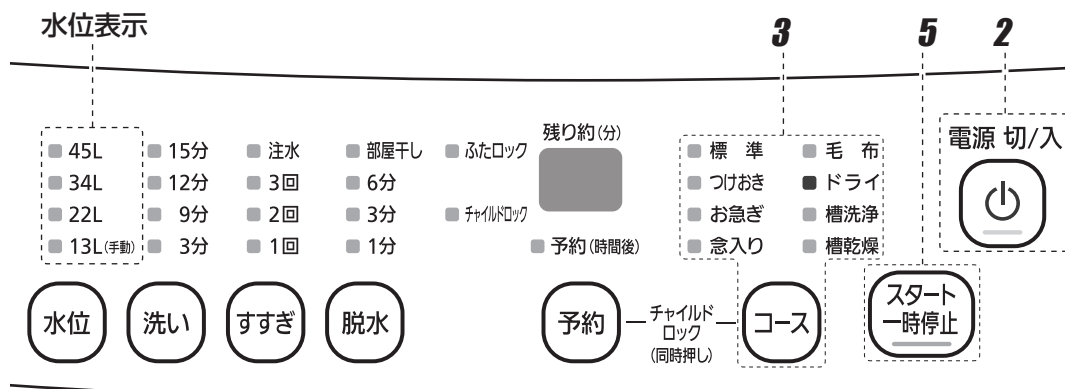


- 洗濯物が水に浮きやすいときは、給水後一時停止して、洗濯物を上から押さえ、十分に洗剤液をしみ込ませてください。

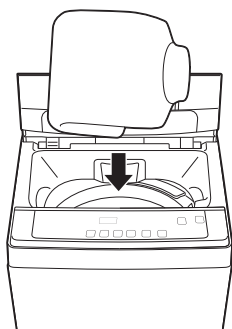
■洗濯物の干しかた

- 洗濯物を取り出すときは、ファスナーを開けて、先に毛布を取り出してください。
- 洗濯物は、風通しのよい直射日光の当たらないところで乾かしてください。





1 水栓を開け、洗濯物を入れる



2 電源 切/入ボタンを押して電源を入れる

3 コースボタンでドライコースを選ぶ

4 水位表示（固定）を目安にして、洗剤・柔軟仕上げ剤などを入れる

5 ふたを閉め、スタート／一時停止ボタンを押す

6 洗濯が終了したら洗濯物を取り出す

7 糸くずフィルターを掃除する

■洗濯物について

ドライコースで洗濯できるもの

手洗い30 または 手洗いの表示があるもの

- ・ウールのセーター・カーディガンなど
 - ・スラックス・スカート・学生服類
 - ・ブラウス・シャツ・ランジェリー類
- ※ 上記でも洗えないものがあります。

ドライコースで洗濯できないもの

- ・水につけると、形くずれ・縮み・風合いの低下を起しやすいもの
- ・皮革製品、または皮革・羽・毛皮などの飾りのあるもの
- ・シルク・レーヨン（ポリノジックを含む）・キュプラ及びその混紡品（裏地に使われているものでも洗わないでください。）
- ・スーツ・ジャケット・コート・ネクタイなど、形くずれしやすいもの
- ・コーティング・樹脂加工（接着剤を使用したもの）エンボス加工・しわ加工がほどこされたもの
- ・ちりめんなどの強撚糸を使用したもの
- ・毛布・カーテンなど大きなもの・重いもの
- ・水に浮いてしまうもの
- ・防水加工されたもの
- ・水で色落ちするもの

色落ちを確認する

- 白いタオルの上に衣類の目立たないところを載せ、洗剤液をしみ込ませた白いタオルでたたきます。タオルに色移りしていたら、洗わないでください。

部分汚れがある場合

- えり・そでなど部分汚れがあるところは、洗剤の原液をつけやわらかいブラシで軽くたたきます。

ブリーツ加工のもの

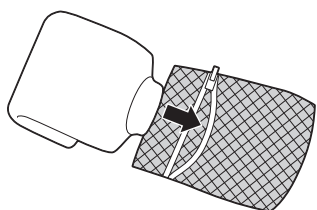
- ブリーツは、しつけ糸でとめてください。

洗濯物の入れかた

デリケートな衣類は洗濯用ネットに入れる

ブリーツ加工のもの

- 1枚ずつ、目の粗い市販の洗濯用ネットに入れてください。
- 衣類は裏返して、えり・そでなど汚れたところが表に出るようにしてください。



平らになるように重ねて入れる

- ネットに入れたセーターなどは、汚れているほうを下にしてください。
- 洗濯用ネットを使用する場合は、他の衣類も入れてください。洗濯用ネットの衣類だけだと衣類が1か所に片寄るため、脱水時の振動が大きくなります。

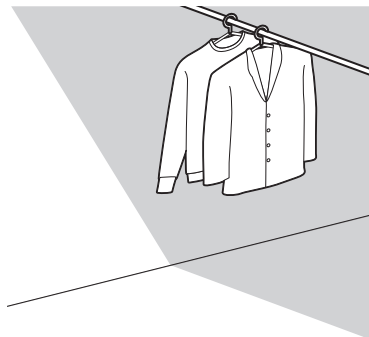
洗剤・漂白剤について

- 洗濯用液体中性洗剤を使用してください。
- 漂白剤は使用しないでください。

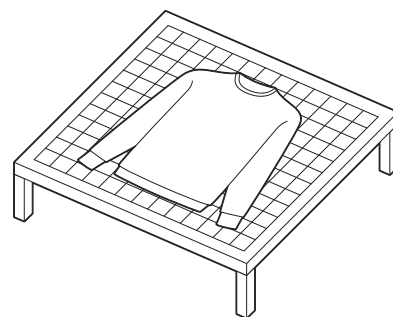


洗濯物の干しかた

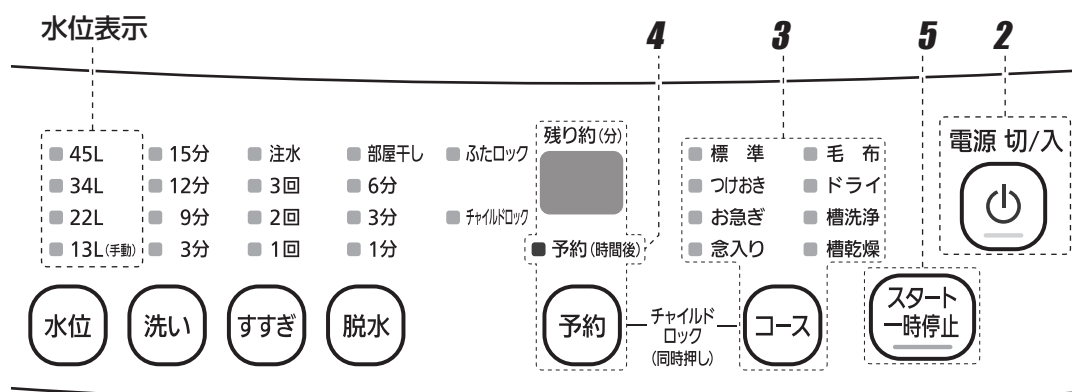
- 洗濯物は早めに取り出して、しわをのばすように広げ、風通しのよい直射日光の当たらないところで乾かしてください。



- セーターなどは平干ししてください。

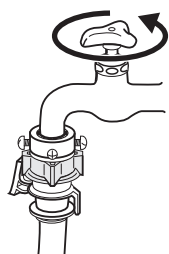


洗濯 タイマー予約洗濯



※ ドライ・槽洗浄・槽乾燥コースでは使えません。

1 水栓を開け、洗濯物を入れる



2 電源 切/入ボタンを押して電源を入れる

3 コースボタンでコースを選ぶ

4 予約ボタンで洗濯の終了時間を設定する

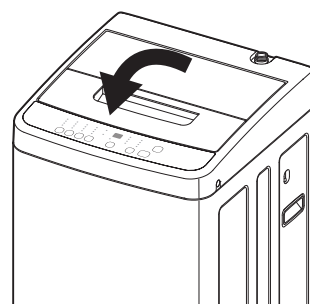
- 24時間後まで選べます。
- 運転時間の長いコースは設定できる最短時間から設定できます。

5 スタート/一時停止ボタンを押す (洗濯物の量検知)

6 水位表示を目安にして、洗剤・柔軟仕上げ剤などを入れる

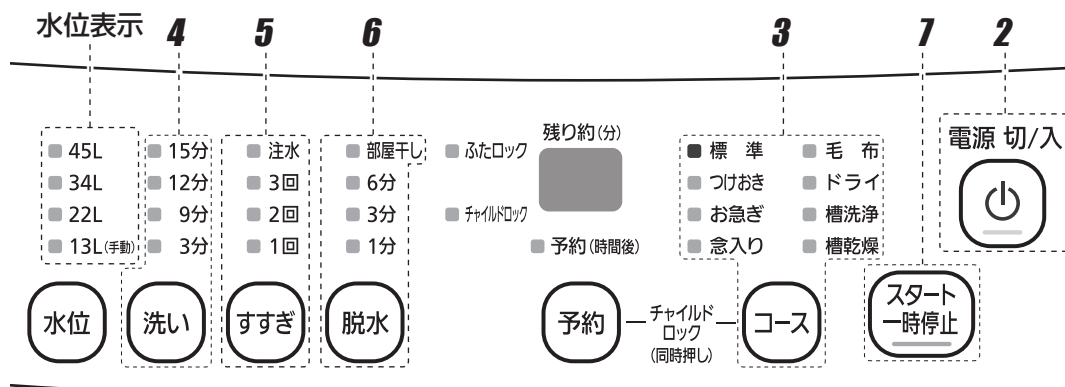
7 ふたを閉める

※ ふたを閉めないと、タイマー予約運転ができません。



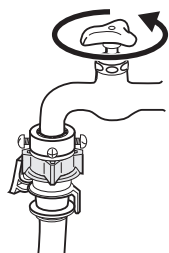
8 洗濯が終了したら洗濯物を取り出す

9 糸くずフィルターを掃除する



洗い時間・すすぎ回数・脱水時間を個別に設定して洗濯できる他、それぞれの行程単独での運転も可能です。
 ※ コースによっては設定できない場合があります。

1 水栓を開け、洗濯物を入れる



2 電源 切/入ボタンを押して電源を入れる

3 コースボタンでコースを選ぶ

※ 個々の設定を変更できないコースもあります。

行程の組み合わせかた

組み合わせ	手順番号
洗い+すすぎ+脱水	4・5・6
洗い+すすぎ	4・5
洗い+脱水	4・6
すすぎ+脱水	5・6
洗いのみ	4
すすぎのみ	5
脱水のみ	6

4 洗いボタンで洗い時間を変更する

5 すすぎボタンですすぎ回数と注水の有無を変更する

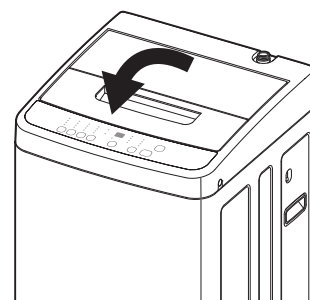
※ 注水はすすぎを念入りにします。

6 脱水ボタンで脱水の時間及び部屋干しについて変更する

7 スタート／一時停止ボタンを押す（洗濯物の量検知）

8 水位表示を目安にして、洗剤・柔軟仕上げ剤などを入れる

9 ふたを閉めると運転がはじまります



10 洗濯が終了したら洗濯物を取り出す

11 糸くずフィルターを掃除する

洗濯 コースの設定を変更して洗濯する つづき

■注水すすぎについて

- **すすぎ**ボタンを押すたびに、すすぎの回数と注水の有無が切り替わります。
注水あり：1回目のすすぎを注水しながらすすぎをします。
注水なし：注水せずのためすすぎをします。

注水ありのとき、
点灯

- 注水
- 3回
- 2回
- 1回

すすぎ

■部屋干しモード

- **脱水**ボタンで**部屋干し**ランプを点灯させると、部屋干しモードが追加されます。
- 部屋干しモードは、洗濯・脱水槽の回転で、湿った空気を排出し、洗濯物の水分を飛ばします。

点灯
■ 部屋干し

- 6分
- 3分
- 1分

脱水

※ しわの取れにくい衣類は部屋干しモードを使用しないでください。

※ フリースなどの軽い衣類は、槽外へ飛び出すことがあります。

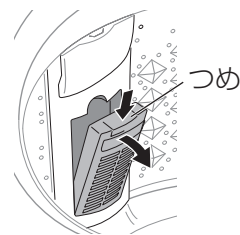
お手入れ

- シンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性・酸性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。

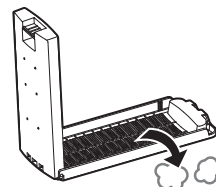
■糸くずフィルター

洗濯後毎回お手入れしてください。

- 1 フィルターケースのつめを押し下げて、手前に引いて取り出す



- 2 フィルターカバーを開け、糸くずを取り除く

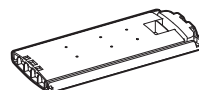


※ 糸くずのたまる量は衣類によって異なります。糸くずがたまっていなくても、衣類に汚れが付着していなければ問題ありません。

- 3 水洗いする



- 4 フィルターカバーをしっかり閉じる



- 5 元どおりフィルターケースを取り付ける

- フィルターケースの上下を確認し、下端を差し込んで、上部をカチッとなるまで押し込んでください。

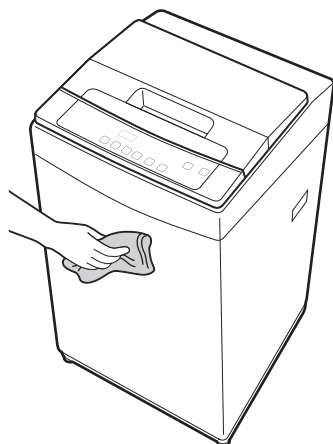


■ 本体外側

洗剤が付いたり、汚れているときはお手入れしてください。

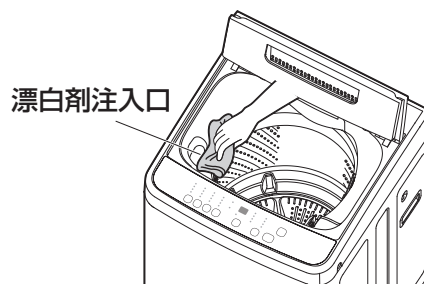
水またはぬるま湯（40℃以下）を含ませたやわらかい布をよく絞って、汚れを拭き取る

※ 汚れが落ちにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いた後、固く絞った布などで洗剤を拭き取ってください。



■ 漂白剤注入口

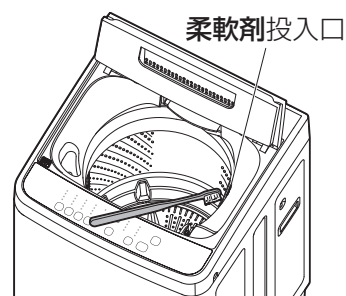
水でぬらし、よく絞ったやわらかい布で、汚れを拭き取る



■ 柔軟剤投入口

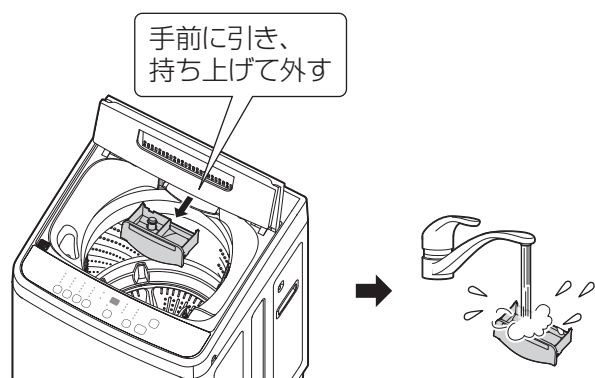
汚れているときはお手入れしてください。

不要な歯ブラシなどでこすり、汚れを落とす



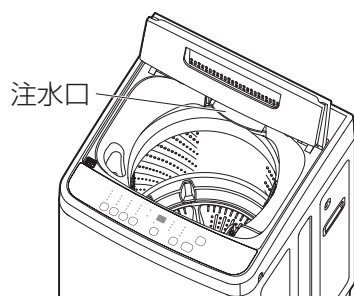
■ 洗剤投入ケース

外して水洗いする

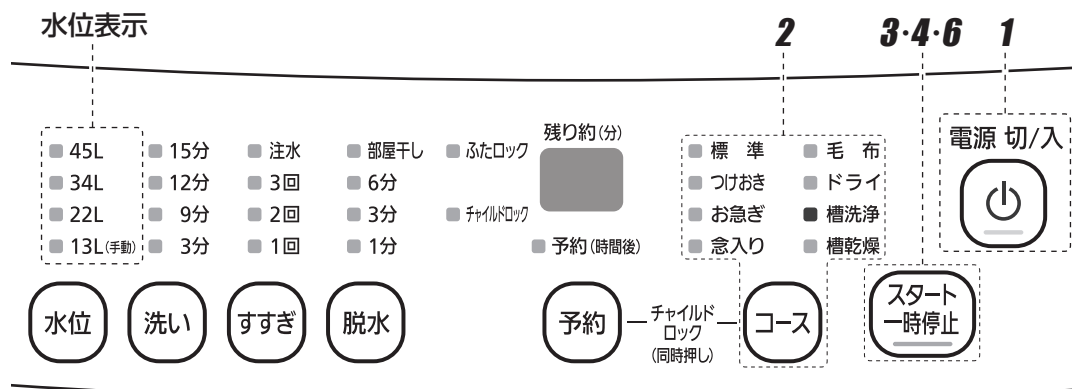


・ 取り付けるときは、逆の手順で取り付け。

洗剤投入ケースを外したときに、注水口の汚れを拭き取る



お手入れ つづき



■ 槽洗浄



- 塩素系漂白剤は、酸性のものや液体と絶対に混ぜないでください。
- 塩素系漂白剤が洗濯・脱水槽に付着しないように、必ず給水しているときに使用してください。
- 塩素系漂白剤が壁や本体外側に付いたときは、速やかに拭き取り、しばらくの間、換気扇を回してください。

洗濯機内部がかび臭いときや、汚れが目立つとき、洗濯物に洗剤かすが付着するようなときは、槽洗浄を行ってください。

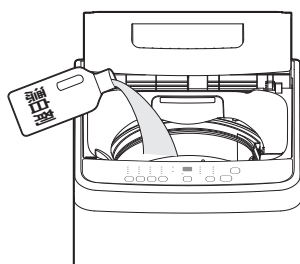
1 水栓を開け、電源 切/入ボタンを押して電源を入れる

2 コースボタンで槽洗浄を選ぶ

3 ふたを閉め、スタート/一時停止ボタンを押す

4 給水が終了した後に、スタート/一時停止ボタンを押し、ふたを開ける

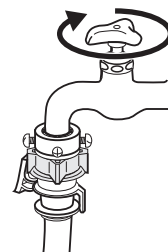
5 槽洗浄用クリーナーを洗濯脱水槽に入れる



6 ふたを閉め、スタート/一時停止ボタンを押す

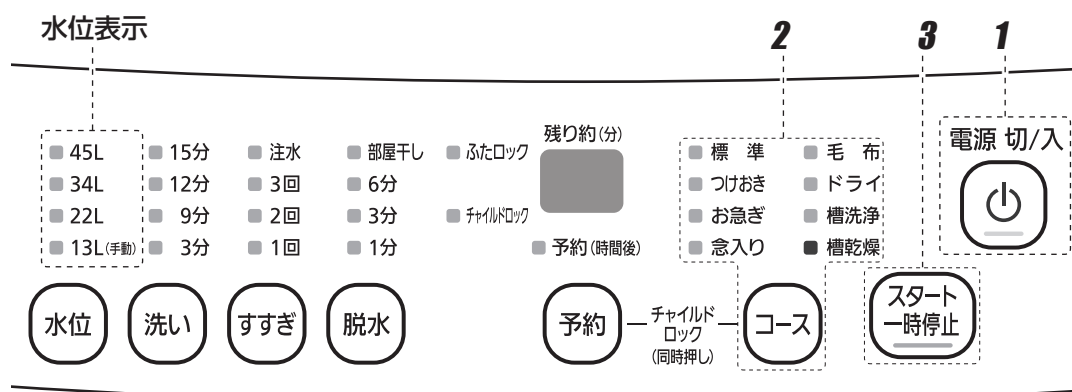
7 槽洗浄が終了したら、ふたを開け、糸くずフィルターをお手入れする

8 給水栓を閉じる



槽洗浄用クリーナーについて

- ・ 槽洗浄には市販の塩素系漂白剤・槽洗浄用クリーナーを使用してください。
- ・ 塩素系漂白剤・槽洗浄用クリーナーの分量については、塩素系漂白剤・槽洗浄用クリーナーの表示にしたがってください。
- ・ 塩素系漂白剤に表示がない場合は、約300mL使用してください。



■槽乾燥

槽乾燥をすると、洗濯脱水槽の湿気を取り、かびの発生をおさえることができます。1週間に1回程度、槽乾燥コースの運転をしてください。(洗濯物は入れないでください。)

※ 黒かびや洗剤かすは槽乾燥では取り除けません。槽洗浄を行ってください。

1 電源 切/入ボタンを押して電源を入れる

2 コースボタンで槽乾燥を選ぶ

3 スタート/一時停止ボタンを押す

・ 約30分で終了します。

コース一覧

コース	水位	つけおき	洗い※2	すすぎ※2	脱水※2	部屋干し※3	所要時間※4
標準	22 ～ 45L※1	—	15分	2回	6分	60分	39 ～ 46分
つけおき	22 ～ 45L※1	30分 (固定)	15分	2回	6分	60分	73 ～ 82分
お急ぎ	22 ～ 45L※1	—	3分	1回	3分	60分	17 ～ 23分
念入り	22 ～ 45L※1	—	15分	2回	6分	60分	43 ～ 52分
毛布	45L (固定)	—	15分	2回	6分	60分	52分
ドライ	34L (固定)	—	9分	2回	3分	—	34分
槽洗浄	45L (固定)	30分 (固定)	3分 (固定)	2回 (固定)	3分 (固定)	—	55分
槽乾燥	—	—	—	—	30分 (固定)	—	30分

※ 洗い・脱水の時間、所要時間は目安です。

※ つけおき中は、時々パルセーターが回転します。

※1 水位13Lは手動で設定してください。

※2 洗い・すすぎ・脱水の時間は、それぞれのコースの標準設定です。洗い・すすぎ・脱水のボタンで変更できます。
(コースによっては変更できないものもあります。)

※3 部屋干しモードは脱水ボタンで部屋干しを選んだときのみ運転します。

※4 所要時間は、給水時間と排水時間を含みます。部屋干しモードの運転時間は含みません。所要時間は目安です。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置
洗濯がスタートしない	● 電源が入っていない	● 電源 切／入ボタンを押して電源を入れてください。
	● ふたが開いたままになっている ● ふたがきちんと閉まっていない	● ふたをきちんと閉めてください。 ● ふたの下に異物がはさまってないか確認してください。
	● タイマー洗濯予約になっている	● すぐに洗濯する場合は、一旦電源を切り、再度電源を入れて、洗濯してください。
電源が入らない	● 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない	● 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
水もれする	● 給水ホースが水栓と確実に接続されていない	● 給水ホースを水栓と確実に接続してください。(→据付説明書)
	● 給水ホースのコネクターと水栓が合っていない	● 給水ホースのコネクターと水栓の形状が合っていないときは、ホースに付属している継手を水栓に取り付けてください。(→据付説明書)
	● 給水ホース付属のホース継手が確実に水栓に取り付けられていない	● 給水ホース付属のホース継手は、水栓に、すき間のないように確実に取り付け、しっかりねじを締めてください。(→据付説明書)
	● 排水口がつまっている	● 洗濯機を取り外し、排水口を掃除してから、再度洗濯機を設置し直してください。(→据付説明書)
	● 排水ホースが排水口から外れている	● 洗濯機を取り外し、排水ホースを排水口に確実に接続してください。
初めて使用したときに、排水ホースから水が出た	● 出荷時の性能テストの水が残っていた	● 異常ではありません。安心してご使用ください。
排水中にゴボゴボという音がする	● 排水が空気と混ざる音がある	● 異常ではありません。
ふたが開かない	● 運転中に停電した	● 電源 切／入ボタンを押して電源を入れてください。
	● チャイルドロックを設定している	● チャイルドロックを解除してください。(→P12)

故障かな？と思ったら つづき

状 態	考えられる理由	処 置
排水されない	● 排水ホースが排水口に接続されていない	● 排水ホースを、排水口に正しく接続してください。(→据付説明書)
	● 排水口がつまっている	● 排水口を掃除してください。
	● 排水ホースが持ち上がっている	● 排水ホースが、床面から10cm以上持ち上がらないようにしてください。
給水されない	● すずぎから始まる運転を選んだときは、最初に排水・脱水する	● 最初に給水する必要があるときは、洗いから始めるように設定してください。
	● 水栓が開いていない	● 水栓を開けてください。
	● ふたが閉まっていない	● ふたを確実に閉めてください。
洗濯の途中で給水される	● 洗濯中に水位が下がると、自動的に不足分を給水する	● 故障ではありません。
	● すずぎ中は、給水しながら運転する	● すずぎ時は最初は少なめの水位で、給水しながら運転します。故障ではありません。
脱水の途中で給水される	● 洗濯物の片寄りを検知すると、一時停止して、給水して片寄りを修正する	● 異常ではありません。給水後再び脱水になります。片寄りが修正しきれないときは、ブザーが鳴って停止します。
ブザーが鳴って、脱水が途中で停止する	● 洗濯物が片寄っていて脱水できない	● 洗濯物の片寄りを検知すると、一時停止して、給水して片寄りを修正しますが、修正しきれないときは停止します。ふたを開け、洗濯物の片寄りを手で直してください。(必ず、脱水が完全に停止してから行ってください。)
洗濯物の量に水位が合っていない	● 軽い衣料、水にぬれて重くなった衣料などを洗濯した	● 洗濯の水位は最初のパルセーターの回転で検知します。軽い衣料や水にぬれて重くなった衣料などを洗濯するときは、 水位 ボタンで水位を変更してください。
洗濯物の量を検知しない	● 洗濯・脱水槽に水が残ったまま運転した	● 洗濯物を取り出して脱水運転で排水をしてください。
洗濯物に糸くずが付く	● 前回の洗濯物の糸くずがたまっていた	● 洗濯後毎回糸くずフィルターをお手入れしてください。(→P20)
	● 色の濃い衣料などは糸くずが目立つ	● 市販の糸くず防止洗濯用ネットを使用してください。

状 態	考えられる理由	処 置
洗濯物に ごみが付く	●洗濯・脱水槽が汚れている (洗剤かす・かびなど)	●槽洗浄を行ってください。槽洗浄(→P22)した後は、糸くずフィルターをお手入れ(→P20)してください。
洗濯物に しみが付く	●柔軟仕上げ剤が部分的に付いて、しみになることがある	●柔軟仕上げ剤は直接衣類にかけないで、柔軟剤投入口に入れてください。(→P11)
洗濯物が黄ばむ	●断水などの後、鉄さびなどでにごった水を使用した	●断水などの後は、水がきれいになるのを待って使用してください。 ●白い洗濯物が黄ばんでしまったときは、市販の還元型漂白剤を使用してください。(色物・柄物には使用できません。)
洗濯物が 傷む・毛羽立つ	●デリケートな洗濯物を標準コースで洗っている	●デリケートな洗濯物は、洗濯用ネットに入れる・ドライコースで洗濯するなどしてください。 ●毛羽立ちやすい洗濯物は裏返して洗濯するなどしてください。
洗濯物に 洗剤が付く	●水温が低いと洗剤が溶けにくい	●水温が低いときは、ふろの残り湯を使用するなどしてください。
	●洗濯物が軽かったり、分厚かったりすると、水に浮いて、洗剤が残りやすくなる	●軽いものや分厚いものは、下の方に沈めて洗濯してください。
	●粉石けんを使用している	●粉石けんは溶けにくいことがあります。別な容器に約30℃のぬるま湯を用意し、溶かしてから使用してください。(→P11)
色移りする	●色落ちしやすいものを一緒に洗濯している	●色落ちしやすいものは、色別にして洗濯してください。
汚れが 落ちにくい	●洗濯物を入れすぎている	●洗濯物の量を適正に減らしてください。
	●洗剤が少ない	●洗濯用洗剤は、洗剤量のランプや、洗剤のパッケージの表記にしたがって、適正な量を入れてください。
	●洗濯物の汚れが激しい	●汚れの激しい洗濯物は、つけおきコースで洗ったり、洗いボタンで洗いの時間を長くしたりして洗濯してください。
	●落ちにくい汚れが付いている	●泥や食べこぼしなど、落ちにくい汚れは、拭き取るなどの前処理をしてください。

故障かな？と思ったら つづき

状 態	考えられる理由	処 置
洗濯物が ごわごわする	●パイル地のタオルなどは、パイルが寝て、ごわつく	●柔軟仕上げ剤を使用してください。
洗濯物がにおう	●洗濯・脱水槽が汚れている（かびなど）	●槽洗浄を行ってください。（→P22）
	●洗濯物を生乾きのまま放置した	●洗濯物は、洗濯終了後できるだけ早く取り出し、適正な方法で乾かしてください。
	●においの付いたふろの残り湯などを使用した	●においのする入浴剤が入っていたり、残り湯が古くなってにおいが付いたりした場合は、使用しないでください。
部屋干しモード 運転したのに 乾きが悪い	●部屋干しモードは温風を使用しないため、室温や湿度によって乾きに差が出る	●乾きが足りないときは、洗いとすすぎをなしにして、脱水+部屋干しモードだけの追加運転をしてください。
音大きい 振動する	●電源コード・給水ホース・排水ホースなどが、洗濯機本体に当たっている	●電源コード・給水ホース・排水ホース、または本体の位置を調整して当たらないようにしてください。
	●金属の小物などと一緒に洗濯している	●金属の小物などは、ポケットなどから取り出して洗濯してください。
	●ファスナーやボタンなどが洗濯・脱水槽の内側に当たっている	●ファスナーやボタンは閉じて洗濯してください。 ●ファスナーやボタンなどがおもて側に出ている衣類は、裏返しにして洗濯してください。
	●設置が悪く、がたついている	●水平で安定した場所に据え付けし直してください。
	●洗濯物が片寄っている	●洗濯物が片寄っていると、脱水時振動が大きくなります。 スタート／一時停止 ボタンを押して一時停止させ、ふたを開けて洗濯物の片寄りを直してください。
洗濯が止まる エラー表示： 	●排水ホースが正しく取り付けられていない	●排水ホースの取り付け状態を確認してください。確認後、ふたを開閉して、再度 スタート／一時停止 ボタンを押してください。
	●排水ホースがつまっている	●排水ホースを点検して、つまっているものを取り除いてください。取り除ききれないときは、アイリスコールへご相談ください。

状 態	考えられる理由	処 置
洗濯が止まる エラー表示： [2-1]	●ふたが閉まっていない	●ふたをきちんと閉めてください。 ●ふたに異物がはさまっていたら、取り除いてください。
洗濯が止まる エラー表示： [2-3]	●ふたロックがかからない	●ふたロック部に異物がはさまっている場合は、取り除いてください。 ●ふたがきちんと閉まっていない場合は閉めてください。
洗濯が止まる エラー表示：[3]	●洗濯物が片寄っていて脱水ができない	●ふたを開け、洗濯物の片寄りを直してください。
	●洗濯物の量が多い ●洗濯用ネットに大量の洗濯物を詰め込んで洗濯している ●大きな洗濯物を洗濯している	●洗濯物の量を減らしてください。 ●洗濯用ネットに入れる洗濯物は小分けにしてください。 ●大きな洗濯物は 毛布 コースで、記載を守って洗ってください。(→P14)
	●洗濯用ネットに入れた洗濯物が洗濯物の上の方にあるので、動作が不安定になる	●洗濯用ネットに入れた洗濯物は洗濯物の下の方に入れ直してください。
	●設置が悪くがたついている	●水平で安定した場所に据え付けし直してください。
洗濯が止まる エラー表示：[5]	●水栓が開けられていない	●水栓を開いてください。
	●水道が凍結したり断水したりしている	●水道が復旧するまで使用を停止してください。
	●給水口にごみがつまっている	●据付専門業者またはアイリスコールへご連絡ください。

これら以外のエラー表示のとき、それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

●自分で分解・修理・改造しないでください。

仕様

種類	全自動電気洗濯機	
定格電圧	AC100V	
定格電源周波数	50Hz	60Hz
定格消費電力	300W	330W
標準洗濯容量	4.5kg	
標準脱水容量	4.5kg	
標準使用水量	89L	
標準水量	45L	
防水レベル	IPX4	
外形寸法	幅540×奥行535×高さ835mm	
質量	28kg	

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

長期使用製品について

経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の内容を、製品本体に表示しています。

【製造年】

【設計上の標準使用期間】

■設計上の標準使用期間

JIS基準に基づく標準的な使用条件下で使用した場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間のことです。無料修理を行う保証期間とは異なります。

標準的な使用条件（JIS基準に基づく）

環境条件	電圧	AC100V
	周波数	50 / 60Hz
	温度	20℃
	湿度	65%
負荷条件	負荷	標準容量
	コース	標準コース
	給水圧	0.03 ~ 0.8MPa
	給湯・給水温度	20±15℃
想定時間	1日の平均使用回数	1.5回
	1回の使用時間	標準コースの時間
	1年間の使用日数	365日
	1年間の使用回数	1.5回×365日=547.5回/年



注意

製品の劣化や故障は様々な要因に影響されます。上記の標準的な使用期間に満たない場合でも、異常が見られたときには、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、6年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

長年ご使用の洗濯機の点検を！

愛情点検



こんな症状はありませんか

- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする
- 本体に触れるとピリピリ電気をを感じる
- 運転中に異常な振動がある
- 洗濯・脱水槽がなかなか止まらない
- 電源を入れても動かないことがある
- 本体やホースから水もれする
- 洗濯機がガタつく

ご使用
中止

故障や事故防止のため、電源を切って、コンセントから電源プラグを抜き、水栓を閉めて、必ず販売店に点検を依頼してください。

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品及び修理に関するお問い合わせは

アイリスコール (通話料無料)

0800-919-0770

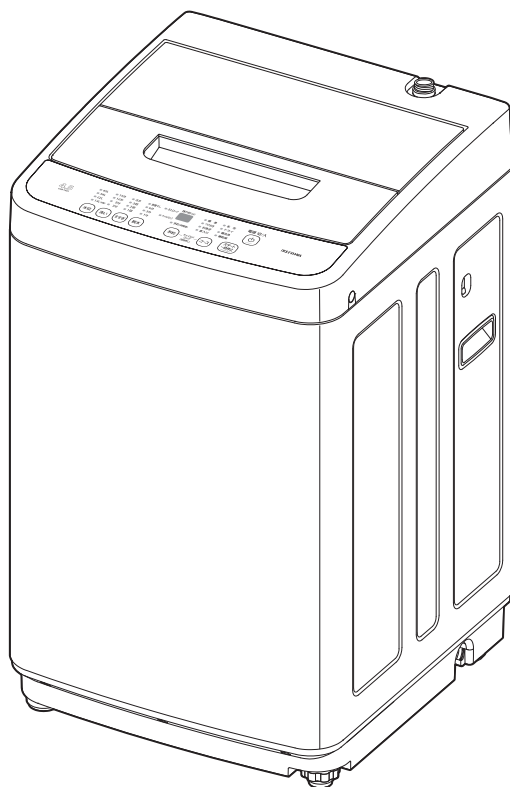
受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAX でのお問い合わせは (通話料無料)

0800-888-2600

Web からの問い合わせは

<https://www.irisohyama.co.jp/support/>
メールフォームにご記入のうえ送信してください



全自動洗濯機

IAW-T451

据 付 説 明 書

据え付けされる方へ

- 据え付け前に、「安全上の注意」をよく読んで、正しく据え付けてください。
- 製品の機能が十分発揮されるように、この据付説明書にしたがって正しく取り付けてください。
- 据え付け終了後、必ず「チェックシート」にしたがって確認をしてください。
- 据え付け終了後、必ず試運転を行ってください。
- 異常のないことを確認した後、この据付説明書はお客様にお渡しください。

もくじ

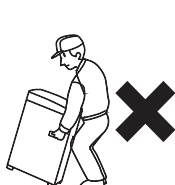
本体運搬時の注意.....	1
安全上の注意	2
付属品の確認	3
据え付け関連部品.....	4
据え付け	5

お客様へ

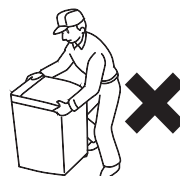
- この据付説明書は、取扱説明書とともに大切に保管してください。

本体運搬時の注意

- 本体にひざを当てて運ばないでください。
- 衣類投入口を持って運ばないでください。
破損・変形のおそれがあります。



- 本体を引きずって移動しないでください。
床を傷つけたり、脚が破損したり、振動・異音が発生したりします。



安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う
おそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。
- 電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う
火災の原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



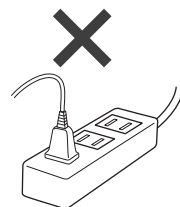
- 電源コードをたばねて使用しない
過熱してやけど・火災の原因になります。
電源コードは、必ずのばして使用してください。
- 洗濯機を電源プラグに押しつけない
据え付け時は、洗濯機で電源プラグを押しつけないように注意してください。



- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、絶対に自分で修理せず、アイリスコールへお問い合わせください。

- 電源コードを傷つけない
- 電源コードを引っ張らない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重い物を載せる、挟み込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

- コンセントや延長コードなどの定格を超える使いかたをしない
火災の原因になります。



据え付けについて



水ぬれ禁止

- 水まわり、浴室など湿気のある場所には絶対に据え付けない
- ベランダ・庭など風雨にさらされる場所に据え付けない
火災・感電の原因になります。



アースを必ず接続

- アースを必ず取り付ける
故障したり漏電したりしたときに、感電のおそれがあります。
- アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない
爆発・火災の原因になります。

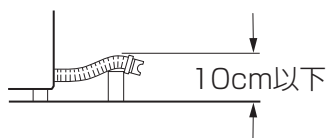


注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



- 排水ホースは高さ10cm以内にする
- 据え付け後や移設後は、水栓を開いて、水もれがないか確認する
水もれがあるときは、もう一度各接続部を点検してください。



- 排水ホースをたるませない
- 排水ホースはねじらない
排水ができなかったり、逆流したりすることがあります。
また、本体内部で他の部品と接触すると、ホースが破れるおそれがあります。



- 給水ホースと本体の給水口は確実に接続する
- 洗濯前は、水栓を開けて、給水ホースの接続を確認する
給水ナットなどがゆるんでないか確認してください。ホースが外れると、水もれや事故の原因になります。
- 据え付けるとき・移設するときには、必ず新品の給水ホースを使用する
古くなった給水ホースは、水もれなどのおそれがあります。給水ホースについては、アイリスコールへご連絡ください。



- 床近傍の給水栓に接続しない
給水ホースの重みで給水ナットがゆるんで水もれの原因になります。

据え付けについて



- キャスター付きの台など不安定な場所に据え付けない
- 高いところに据え付けない
脱水時の振動で、転倒・落下・移動し、けがや周囲の家財の破損の原因になります。
- カーペットなど、底面の通気をさまたげる場所に据え付けない
火災の原因になります。



- 確実に排水できる場所に据え付ける
水もれにより、周囲の家財の汚損や、火災・感電の原因になります。



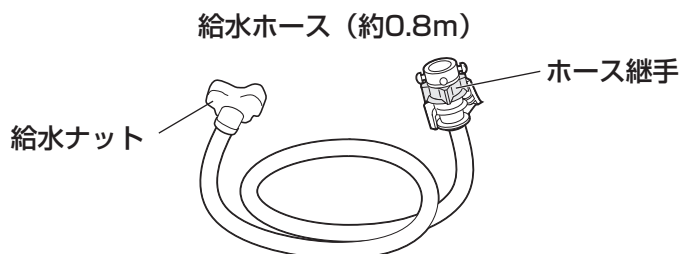
- 給水ホースは、ストッパー付き洗濯機用ニップルの付いた水栓に接続する
- ニップル付き水栓でない場合は、必ず付属の継手を取り付けて接続する
水もれがないように、確実に取り付けてください。給水ホースとサイズなどが合わない場合は取り付けしないでください。



- 給湯器に接続しない
プラスチック部分が変形・破損し、感電や漏電、水もれの原因になります。

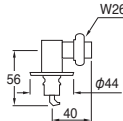
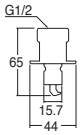
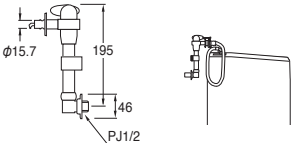
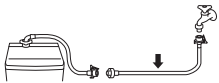
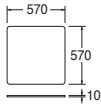
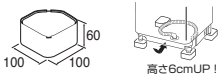
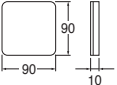
付属品の確認

最初に、付属品がそろっていることを確認をしてください。
万一足りないものがある場合は、アイリスコールへご連絡ください。



据え付け関連部品

据え付けに必要な部品を用意する場合は、以下の株式会社三栄水栓製作所のものを推奨します。(当社確認済み)

部品名	品番	形状	備考
洗濯機用 L型ニップル	PY124-41TVX-16		・ 万一ホースが外れた場合、瞬時に給水を自動停止 ・ 曲げ角度90° ・ 材質：青銅
洗濯機用 ニップル	PT3320		・ 万一ホースが外れた場合、瞬時に給水を自動停止 ・ カップリング水栓用 ・ 材質：黄銅
ミニセラ 洗濯機用水栓	PY1735TV-13		・ 配管が洗濯機より低い場合に使用します。 ・ オートストッパー付き
自動洗濯機 給水延長ホース	PT17-2-1		・ 全自動洗濯機用ホースの延長用 ・ 長さ：1m ・ 材質：塩化ビニル樹脂、ポリアセタール
洗濯機 排水ホース	PH64-861T-1.5		・ 洗濯機排水ホースの延長用 ・ 長さ：1.5m ・ ホース内径：30mm
洗濯機用 トレイ（全自動用）	PH545-570		・ 材質：ポリスチレン
洗濯機 防振かさ上げ台	PH54130S		・ 洗濯機の下に敷くことで、洗濯機の位置が6cmアップします。 ・ 洗濯機の振動を抑えます。 ・ 耐荷重：150kg（4個使用時） ・ 材質：ポリプロピレン
防振パッド	PW75		・ 洗濯機の下に敷いて振動を抑え、ずれを防ぎます。 ・ 材質：ウレタンフォーム、EVA樹脂

※ 仕様は予告なく変更する場合があります。

据え付け

1 据え付け場所を確認する



●水回り、浴室など湿気のある場所には絶対に据え付けしないでください。

●ベランダ・庭など風雨にさらされる場所には据え付けしないでください。



●キャスター付きの台など、不安定な場所には据え付けしないでください。

●高いところに据え付けしないでください。

●確実に排水できるところに据え付けてください。

●安定した水平な床に据え付けてください。

●次のような場所には据え付けしないでください。

- ・冬季に凍結するおそれのある場所
- ・直射日光の当たる場所
- ・暖房など発熱器具の近く
- ・有機溶剤を扱う場所
- ・強度のない床
- ・タイルなど滑りやすい床
- ・ブロック・角材・レンガの上など、不安定な場所

給水圧の確認

- ・接続する水栓の水圧が、以下の範囲になっているか確認してください。

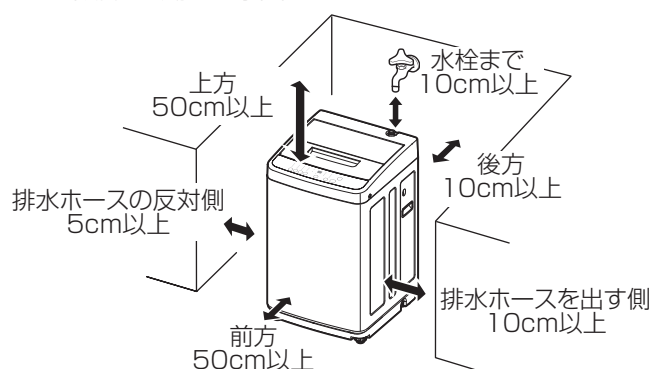
最大許容水圧：0.8MPa

最小許容水圧：0.03MPa

据え付けに必要な寸法の確認

壁から図に示す距離を空ける

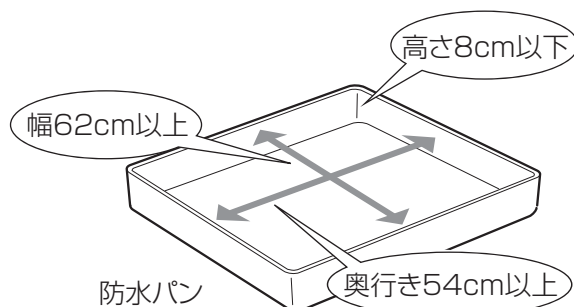
- ※ せまい場所に設置すると、接触による騒音・振動・故障・破損の原因になります。



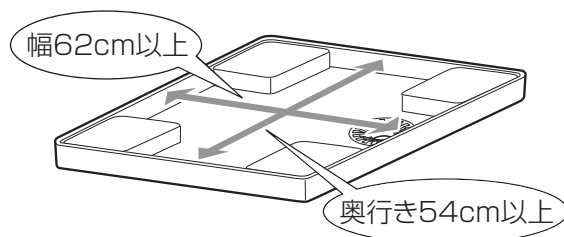
防水パンに設置する場合は

防水パンの内寸は図に示す寸法が必要

- ・台なし防水パン



- ・台付き防水パン



※ 防水パンが設置されておらず、床が防水でないときは、洗濯機用トレーを設置してください。
室温が低いときや湿度が高いとき、冷水を使用して洗濯するときなど、洗濯機の内側が結露して、床がぬれることがあります。

排水口の清掃

排水ホースを取り付ける前に排水口を掃除する

- ※ 排水口にごみがたまっていると、水もれや排水不良、においの原因になります。

2 排水ホースを排水口に接続する



注意

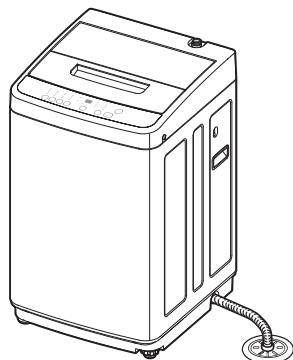
- 排水ホースをたるませたり、ねじったりしないでください。
- 排水ホースは、本体底面とこすれないようにしてください。
- 排水ホースは、高さ10cm以内にしてください。

- 排水口が本体の右側・左側・後ろ側にあるときは、そのまま排水ホースを排水口に接続します。
- 排水口が本体の下にあるときは、高さ調整板を使用して排水口に接続します。

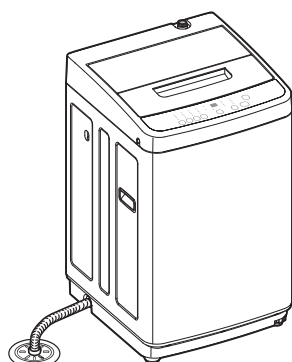
排水口が本体の右側にあるとき

それぞれ下図のように排水ホースを引き出し、排水口に接続する

排水口が右側にあるとき



排水口が左側にあるとき

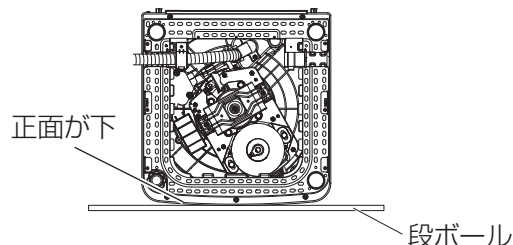


排水ホースが本体左側にあるとき

排水ホースを左側から出すとき

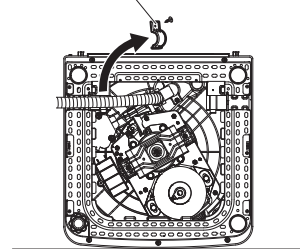
- ・工場出荷時には、排水ホースは本体右側にセットされています。排水ホースを左側に出すには、次のようにしてください。

①段ボールなどを敷き、正面を下にして寝かせる



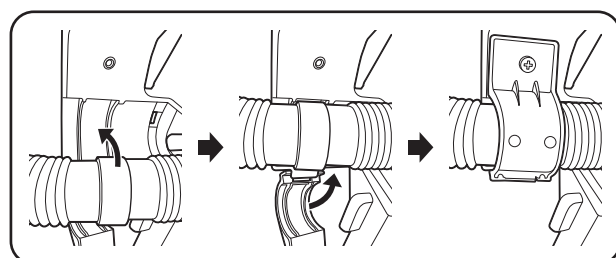
②ホースを固定しているホースバンドを外す

ホースバンド



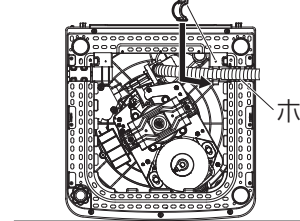
③ホースを本体左側のホース取り出し口にはめ込み、ホースバンドで固定する

※ ホースの凸部とホースバンドの凹部をあわせる



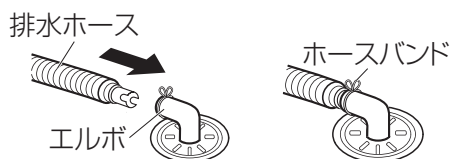
ホースバンド

ホース取り出し口



排水口への接続

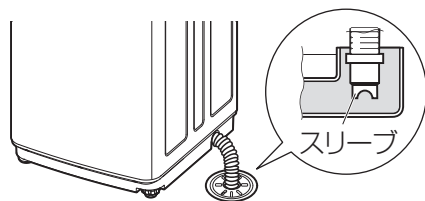
- 排水口にエルボがある場合は、エルボに排水ホースを差し込みます。
- ※ホースが本体底面などこすれないように注意してください。ホースに穴が開くと、水もれの原因になります。
- ※排水ホースは、エルボのホースバンドでしっかり固定してください。
- ※排水ホースとエルボの差し込みがゆるい場合は、エルボを交換してください。



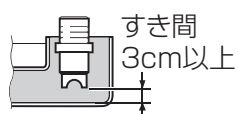
- ※排水ホースの先端をつぶさないでください。水もれの原因になります。



- 排水口にエルボがない場合は、排水ホースの先端を排水口に差し込みます。
- ※排水ホース先端のスリーブは、ホースの先端にすき間を設けるためのものです。外さないでください。



- ※ホースの先と排水口の底の間に3cm以上のすき間を設けてください。

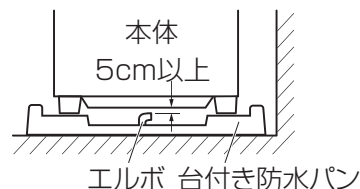


排水口が本体の下にあるとき

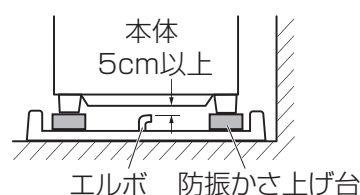
排水口への接続

- 排水口にエルボがある場合は、エルボ上端と本体底面の間に5cm以上のすき間を確保できるように、台付き防水パンなどを使用するか、防振かさ上げ台を使用して高さを調節してください。

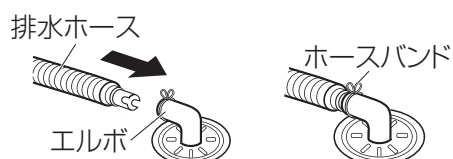
台付き防水パンの場合



台付き防水パンでない場合



- ※排水ホースは、エルボのホースバンドでしっかり固定してください。
- ※排水ホースとエルボの差し込みがゆるい場合は、エルボを交換してください。



- 排水口にエルボがない場合は、市販の排水トラップエルボを取り付けてください。

3 給水ホースを本体へ接続する

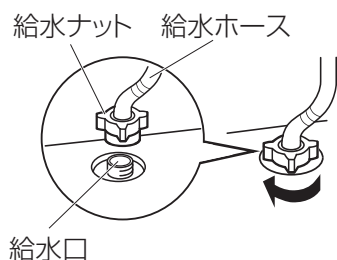


注意

● 給水ホースと本体の接続は、確実に行ってください。

- 給水ホースの先に付いている給水ナットを、本体の給水口にかぶせて、ナットを締め込んでください。

※ ナットは最後まできっちり締めてください。

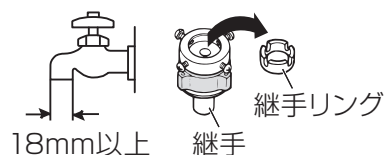


4 給水ホースを給水栓に接続する

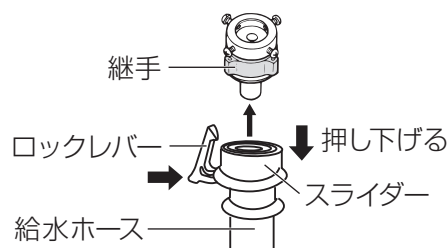
付属の継手の取り付けかた

- 横水栓などに付属の継手を使用して接続する場合は、給水ホースから継手を取り外して、給水栓に取り付けてください。

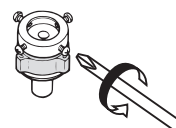
- 給水栓の口の直径が18mm以上のときは、継手リングを外してください。



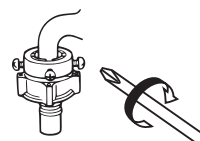
※ 継手を給水ホースから外すには、給水ホースのロックレバーを押してロックを外しながら、スライダを押し下げて、引っ張ってください。



- 継手の4本のねじをゆるめる

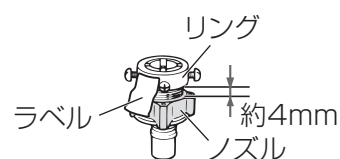


- 給水栓の口の中心と継手のパッキンの中心が合うように、ねじを均等にしっかり締めてください。



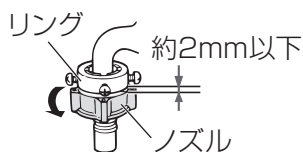
- 継手のリングとノズルの間が約4mmであることを確認して、ラベルをはがす

※ ノズルが回転しないようにラベルが貼り付けてあります。ラベルをはがしてしまった場合は、ノズルを回転させてリングとノズルの間を調節してください。



⑤ ノズルを右に回して締める

- ノズルとリングの間に2mm以下になるように締めてください。

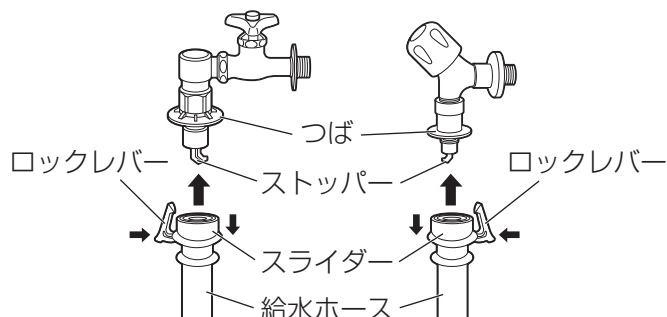


- 使用中に水もれするときは、ノズルをさらに締めてください。

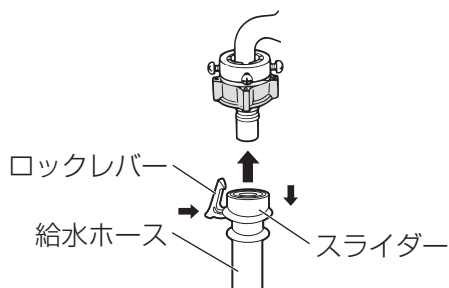
- 付属の継手は、時間が経つとゆるんでくることがあります。水もれがないか、定期的に点検して、増し締めなどを行ってください。
- ひんぱんに水もれしたり、水もれの可能性が大きいときは、ニップル付き給水栓の使用をおすすめします。

接続

- ニップル付き給水栓に接続するときは、付属の継手を取り外し、スライダを押し下げて、パチンとなるまで給水ホースを押し込み、ロックレバーをつばにかけてください。
- ※ ストッパー付き水栓のストッパーが吐水口から出ているときは、必ず水栓を閉めてから、ストッパーを押し込んでください。



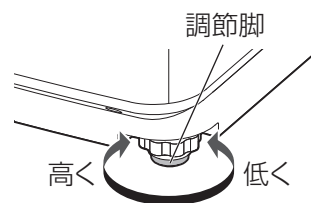
- 付属の継手を使用する場合も、スライダを押し下げて、パチンとなるまで給水ホースを押し込み、ロックレバーをつばにかけてください。



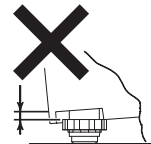
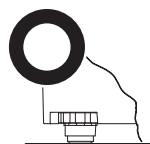
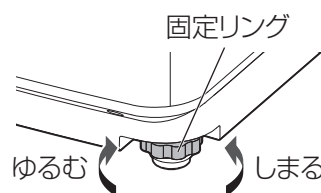
- 給水ホースを引っ張り、抜けないことを確認してください。
- 本体の電源は入れないで、給水栓を開け、水もれがないことを確認してください。

5 水平・がたつきの確認をする

調節脚を回して、がたつきがないように調整する



- 調節した後は、調節脚の固定リングを回して固定してください。

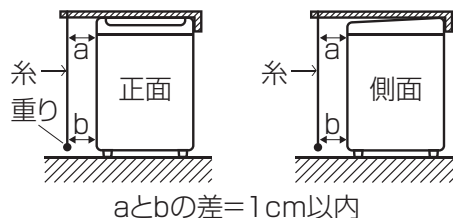


- ※ 本体底部が、防水パンのふちやコーナー部などに乗り上げたりしていないことを確認してください。



本体が水平になっているか確認する

- 正面と側面で、重りを付けた糸を下げ、上側と下側ですき間に1cm以上の差がないようにしてください。



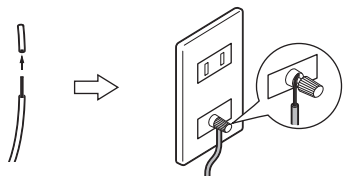
本体の対角線上の角を押して、がたつきがないことを確認する

- ※ がたつきのあるときは、再度調整してください。

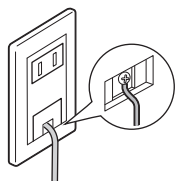
6 アースを接続する

アース端子付きコンセントがある場合

- ・アース線先端の絶縁被覆を抜き取り、芯線部分をアース端子に差し込んで固定します。

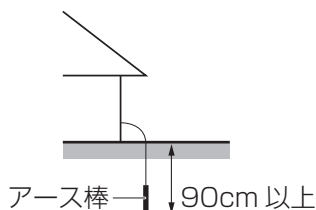


- ・ふた付きの場合はふたを開けてつないでください。



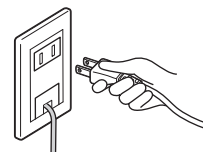
アース端子付きコンセントがない場合

- ・アース棒の設置が必要です。販売店または電気工事店に相談してください。



- アースは必ず接続してください。
- ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。

7 電源プラグをコンセントに差し込む



- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。
- 電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- 電源コードはたばねないで、必ずのばして使用してください。
- 洗濯機を電源プラグに押し付けないようにしてください。
- 電源コードや電源プラグが、傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
- 電源コードを、引っ張ったりして傷つけないでください。
- 延長コードは使用しないでください。

8 試運転する

- ・次の手順で試運転してください。

1 電源プラグを差し込み、水栓を開く

- ・給水ホースや接続部から水もれがないことを確認してください。

2 ふたを閉め、電源 切／入ボタンを押して電源を入れ、スタート／一時停止ボタンを押してスタートする

- ・パルセーターが左右に回転して、水位が表示され、給水が始まります。ふたロックが点灯して、ふたがロックされることを確認してください。
- ・約5分間運転し、異常音・水もれがないことを確認してください。

3 スタート／一時停止ボタンを押して、一時停止する

- ・ふたを開けて、ふたロックが解除していることを確認してください。

4 電源 切／入ボタンを押して電源を切り、再度押して電源を入れ直す

5 ふたを閉めて脱水ボタンを押し、スタート／一時停止ボタンを押してスタートする

- ・ふたがロックされます。
- ・排水が始まります。排水口・排水ホースから水もれがないこと、にごった水が出ないことを確認してください。
- ・脱水がはじまったら、異常音・異常振動がないことを確認してください。
- ・モーターは通電による制御をするため、モーター音は一定ではありませんが、異常ではありません。

6 スタート／一時停止ボタンを押して一時停止する

- ・約70秒でふたロックが解除されることを確認してください。

7 電源 切／入ボタンを押して、電源を切る

チェックシート

- ・ 据え付け完了後、各項目を確認して、□の中に✓印を入れ、この据付説明書をお客様に渡してください。

- ☐ AC100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使用しています。
- ☐ コンセントのゆるみや、電源コード・電源プラグの傷みはないことを確認しました。
- ☐ アース線の接続は確実に行いました。（感電防止のため、アースは必ず接続してください。）
- ☐ 給水ホースの、水栓・本体との接続部に水もれがないことを確認しました。
- ☐ 試運転して、にごった水は出ないことを確認しました。
- ☐ 排水口に糸くずなどのごみがたまっていないことを確認しました。
- ☐ 排水ホースが、本体の下にはさまったり、よじれたり、つぶれたりしていないことを確認しました。
- ☐ 排水ホースの高さが10cm以内であることを確認しました。
- ☐ 本体が水平になっていることを確認しました。
- ☐ 本体の対角線上の角を押したときに、がたつきがないことを確認しました。
- ☐ 調整脚の固定リングをしっかり締めたことを確認しました。（本体底面と固定リングの間にすき間がないこと）
- ☐ 試運転して、異常音、水もれ、電源コード・排水ホース・給水ホースの本体への接触はなく、正常に動作することを確認しました。

確認日： 年 月 日

確認者：

工事(施工)会社名：

問い合わせ先 電話番号：

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品及び修理に関するお問い合わせは

アイリスコール (通話料無料)

0800-919-0770

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAX でのお問い合わせは (通話料無料)

0800-888-2600

Web からの問い合わせは

<https://www.irisohyama.co.jp/support/>

メールフォームにご記入のうえ送信してください